

「ワンちゃんを、皮膚の悩みから解放したい」という想いをカタチに

イヌ幹細胞上清液配合「&Stem」犬専用スキンケアクリーム & 泡ローション  
クラウドファンディングCAMPFIREにてプロジェクト展開

<https://camp-fire.jp/projects/view/659895>

StemWorks株式会社（東京都品川区、代表取締役CEO：山口哲也、以下StemWorks）は、イヌ幹細胞上清液「®STEM AID」を配合した「&Stem」犬専用スキンケアクリーム&泡ローションに関するクラウドファンディングプロジェクトを、2023年8月15日（火）までCAMPFIREにて展開いたします。



ワンちゃんを  
皮膚の悩みから  
解放したい。

犬専用スキンケア  
クリーム&泡ローション  
イヌ幹細胞培養上清液「®STEM AID」配合

**&Stem**

#### ■ヒト由来ではない、イヌ幹細胞培養上清液を活用した新たなスキンケア

StemWorksは「世界中のペットを皮膚の悩みから解放したい」という思いのもと、獣医療の最前線で動物たちと向き合っている、救急医療専門医・皮膚科専門医・獣医大学准教授とともに、製品開発に取り組んできました。動物の乾燥トラブルの対策法として、これまでも幹細胞培養上清液を使ったケアは行われてきましたが、“ヒト由来”の幹細胞培養上清液が使われるのが主流でした。動物に対する相性はもちろんですが、ヒト由来の幹細胞培養上清液は高額であるため、これまで一部の犬とその飼い主しか恩恵を享受できないという状態にありました。

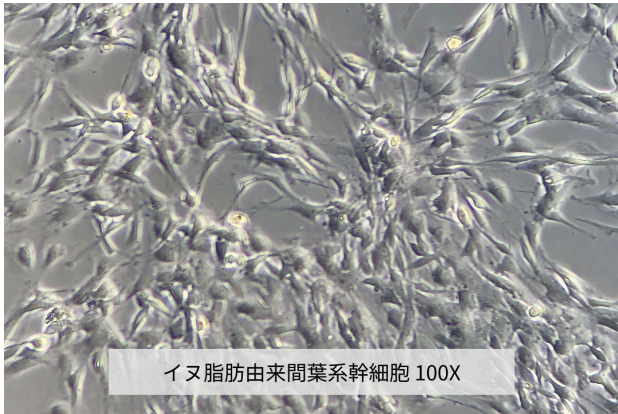
StemWorksでは、これまで15年に渡る、イヌネコ由来幹細胞の培養経験を活用し、より安価にその能力を活かせるような製品の開発に着手。犬が持つ皮膚の悩みを手軽にケアできる、幹細胞培養上清液を活用した乾燥トラブルの対策法として、この度の製品化を実現いたしました。

コロナ禍をきっかけに、新たにペットを家族として迎え入れる家庭は増加しており、一般社団法人・ペットフード協会が調査した「全国犬猫飼育実態調査（2022年）」によれば、犬の飼育頭数は年々減少傾向にあるものの、新規飼育頭数は過去10年間で最多の42万6000頭となりました。今や多くの人にとって、ペットは大切な家族の一員と言えます。そんな大切な家族と1日でも長く一緒にいたいという飼い主の想いに寄り添えるチャレンジを、この度展開してまいります。

## ■専用のクリーンルームで生産される、「安心・安全」なイヌ幹細胞培養上清液

この度の「&Stem」スキンケアクリーム&泡ローションに使用されているイヌ幹細胞培養上清液は、動物専用のクリーンルームと呼ばれる、空気中の微粒子を極限まで抑えた清浄度の高い施設において、徹底的な衛生管理のもと、日本国内で生産されています。

また、安定した品質を確保するための規格のもと、各工程における検査基準を満たしたものだけを、原材料としています。細胞の取扱いは上級臨床培養士と呼ばれる有資格者が行い、製造及び品質管理をそれぞれの部門が担当して出荷されます。



## ■日々、犬と飼い主の悩みと向き合っている獣医師との共同開発

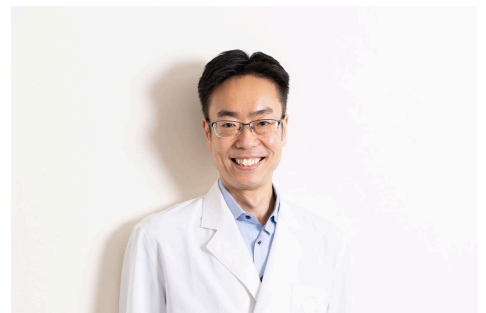
日本獣医皮膚科学会認定医  
アジア獣医皮膚科専門医協会レジデント課程修了  
獣医師 大隅尊史

9年前より皮膚科専門の道に入り、毎日、お悩みを抱えたワンちゃん、ネコちゃんを診ております。今回開発された幹細胞培養上清液配合の製品は、より身近で試しやすい良い製品だと感じます。そして、試験的に利用された患者様からも、良い状態を保っていると回答を得ているため、皮膚科医である私が先頭に立って、この製品の適応を模索していきたいと考えております。



研究開発技術指導アドバイザー  
東京農工大学農学部 共同獣医学科 准教授  
アジア獣医内科学専門医（内科）  
獣医師 大森啓太郎

当分野における研究開発も進み、この10年ほどで新たな研究結果も多く見られるようになってきました。それでもまだ、愛すべき家族とも言えるペットのお悩みを抱えている飼い主様がたくさんいらっしゃいます。獣医師として、そんな飼い主様たちの悩みに寄り添う新たな方法を確立しつづけるしかないと思っています。今回、私たちが着目したのが動物由来の幹細胞培養上清液です。幹細胞培養上清液は数年前から人間の分野でも活用が進んでいますが、動物由来の幹細胞培養上清液の研究も進み、乾燥などのトラブルに役立つというエビデンスも得られてきました。それらを活用するかたちで今回私が開発に携わったのが、動物由来の幹細胞培養上清液を配合したクリームと泡ローションです。まずは外部からアプローチしていきますが、将来的には「内側」からもアプローチできるように、開発に携わっていく予定です。外側と内側の両方からペットと飼い主様のお悩みにアプローチできる、動物由来の幹細胞培養上清液はまさに“二刀流”の活躍が見込める画期的な成分だと思っています。



獣医師 中村篤史

私は動物病院を運営しているのですが、来院する多くの飼い主さんの悩みは乾燥などのトラブルです。ペットを“自分の子ども“のように愛情を持って接する人たちが多くからこそ、誰もがこの悩みをどうにかしたいと思っています。私たちはそんな飼い主さんの悩みを少しでも和らげたいと思い、今回クリームや泡ローションを開発しました。新しい手法なので、最初は懐疑的な声も多いと思います。今後は事例数を増やしていき、いかに認知度を高めていけるかが重要になってくると思います。愛するペットのトラブルに悩む飼い主さんたちに、この製品が届いてくれたら、自分としてはこの上なく嬉しいです。



## ■犬専用の次世代スキンケアをクラウドファンディングで限定価格にて販売

多くの愛犬と飼い主を悩ませる乾燥トラブル。StemWorksでは、動物由来の幹細胞培養上清液という新しいアプローチによって、お悩みに寄り沿う製品を開発。クラウドファンディング CAMPFIREにて、限定価格で販売いたします。

### ▼プロジェクトページ

各リターンの詳細については、こちらからご覧ください。

<https://camp-fire.jp/projects/view/659895>

※各リターンのお届け時期は2023年10月以降を予定しています。



### イヌ幹細胞培養上清液「®STEM AID」配合 犬専用スキンケアクリーム（敏感肌、乾燥肌用）

● 原材料名：水・イヌ幹細胞培養上清液・ベンチレングリコール・グリセリン・ベタイン・スクワラン・セラミド

※パラベン、エタノール、合成香料、着色料フリー

※代替法による皮膚刺激性試験、眼刺激性試験、経口毒性試験、パッチテスト済み

※すべての犬に刺激が起きないということではありません。

- 内容量：10g
- 保存方法：冷蔵庫で保管して下さい。
- 原産国名：日本
- 使用期限：開封から1ヶ月
- 使い方：適量を取り皮膚の乾燥が気になるところにやさしくなじませてください。獣医師の指導の下に使用することをお勧めします。



### イヌ幹細胞培養上清液「®STEM AID」配合 犬専用スキンケア泡ローション（敏感肌、乾燥肌用）

● 原材料名：水・イヌ間葉系幹細胞培養上清液・グリセリン・BG・ベンチレングリコール・ベタイン・スクワラン・セラミド

※パラベン、エタノール、合成香料、着色料フリー

※代替法による皮膚刺激性試験、眼刺激性試験、経口毒性試験、パッチテスト済み

※すべての犬に刺激が起きないということではありません。

- 内容量：100ml
- 保存方法：冷蔵庫で保管して下さい。
- 原産国名：日本
- 使用期限：開封から1ヶ月
- 使い方：適量を取り皮膚の乾燥が気になるところにやさしくなじませてください。獣医師の指導の下に使用することをお勧めします。



※パッケージは変更になる可能性があります。

## StemWorksについて

私たちStemworksは、「動物由来幹細胞」と「動物由来幹細胞上清液」で新たな可能性を切り開き、以下を実現したいと思います。

### 家族の一員であるペットと少しでも長く楽しく過ごせるよう動物の健康寿命を延ばすこと

今、愛するペットへの思いは、コロナ禍で家庭での滞在時間が増え、触れ合う時間と比例して愛情がさらに増し、以前よりもずっとずっと大切に離れがたい、そんな存在になっていると思います。大切に愛おしくあればあるほど、ペットの健康不良や病気、老化、そしてお別れへの不安や心配が、日々増加するのだと思います。

ペットの寿命を考えると、飼い主のみなさんは何度かお別れに直面し、深い悲しみに伏せます。しかしながら、また新しい命と出逢い、向き合い、家族として新たな生活をスタートさせます。それを繰り返すことで、「愛するペットが、できる限り健康で、幸せに過ごして欲しい」という思いがさらに強くなるのだと思います。

そしてその愛するペットに対して「なんとかしてやりたい」という「切なる思い」に応えるために、私たちは日本において目覚ましい発展を遂げている先進的な開発が、ペットにも応用できるのではないかという仮説に基づき、動物由来の幹細胞上清液製品の開発に着手しました。

大学など研究機関との連携によりエビデンスをしっかりと提示しながら、安全な商品製造はもちろん、安心して使って頂けるよう、細心の注意と工夫を凝らして、飼い主と獣医の皆様へ、今までの常識では考えられないような成果が期待できる動物由来幹細胞上清液製品をお届けできるよう、日々努力いたす所存です。